

# 第86回全日本男子ホッケー選手権大会 【 決勝戦 】

開催日時 12 月 9 日 ( 日 ) 会場 埼玉・飯能市阿須ホッケー場 天候 晴れ

## 決勝

名古屋フラーテルホッケーチーム 3  $\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$  2 立命館大学

### <得点>

名古屋F : #7 猿養(25分,FG)、#9 古里(36分,FG)、#12 坪内(65分,FG)

立命館大 : #11 渡部(11分,PC)、#1 藤吉(60分,FG)

### <戦評>

第86回全日本男子ホッケー選手権大会決勝戦、名古屋フラーテルホッケーチーム対立命館大学の試合が埼玉県飯能市阿須ホッケー場にて行われた。

名古屋フラーテルのセンターパスで試合が開始された。両チーム共に相手陣営へ攻め込み、11分立命館大学がキレのあるドリブルからペナルティコーナーを奪取し、混戦からのこぼれたボールを11番渡邊がリバースシュートで先制点を獲得した。25分名古屋フラーテルがパスカットからのセンタリングを7番猿養が得点。33分ペナルティコーナーを得た名古屋フラーテルだが、立命館大学GK吉田がファインセーブし得点を奪うことができず前半を1対1で終える。

後半、立命館大学のセンターパスで開始され、開始早々の36分名古屋フラーテルが素早いパス回しから1番小澤のセンタリングから9番古里がタッチシュートを決める。その後一進一退の攻防が続くが、60分に立命館大学が相手サークル付近での巧みなパスワークから1番藤吉がゴールを決め同点とするが、65分名古屋フラーテルがGKの弾いたボールを17番橘がシュートし、そのボールを12番坪内がタッチシュートを決め決勝点を挙げた。立命館大学は残りわずかな時間で猛攻を仕掛けるも一手及ばず名古屋フラーテルホッケーチームが優勝を遂げた。

テクニカルオフィサー	中村康夫	
ジャッジ	浅野久雄	鯨井 暢
アンパイア	富山喜正	近藤聡史
S. アンパイア	名取英生	児玉茂樹